

## 多摩地域における特発性冠動脈解離（SCAD）の多施設後向きコホートレジストリ研究 （Tama SCAD registry）に関する情報公開（オプトアウト）

当院では、特発性冠動脈解離（SCAD）および関連疾患の患者様の診療記録を、以下の多施設共同後向きコホートレジストリ研究（Tama SCAD registry）に使用する事業に協力しています。

私たちは可能な限り皆様のご協力を得たいと思っております。ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。但し、すでに解析を終了している場合等、本データから患者様の情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

---

### 【研究課題名】

多摩地域における特発性冠動脈解離の発症率、治療戦略、予後に関する多施設後向きコホートレジストリ研究：Tama SCAD registry

### 【研究責任者】

代表研究機関：東京都立多摩総合医療センター 循環器内科 磯貝 俊明

当院責任者：東大和病院 循環器科 加藤 隆一

### 【研究期間】

研究機関の長による研究実施許可後 ～ 2030年3月31日

### 【研究の目的】

日本人における特発性冠動脈解離（SCAD）の発症率・治療・予後を明らかにすること、またSCADの鑑別疾患である動脈硬化性急性冠症候群およびたこつぼ症候群の患者さんと比較することで、日本の心血管インターベンション手技の進歩と医療の質の向上に寄与することを目的としています。

### 【対象となる方】

当院で以下のいずれかに該当する患者様

- ① 特発性冠動脈解離（SCAD）と診断された20歳以上の患者さん
- ② 20歳以上60歳以下の女性で、動脈硬化性の急性冠症候群（急性心筋梗塞・不安定狭心症）と診断された患者さん
- ③ 60歳以下の女性で、たこつぼ症候群と診断された患者さん

### 【方法】

本研究は後向き観察研究であり、病院で保管・管理している既存のカルテ情報から必要なデータを

収集します。この研究のために新たなデータの収集（採血・検査等）は行いません。

利用する情報は以下の通りです。

- ・患者背景（年齢、性別、既往歴、危険因子等）
- ・各種検査所見（血液検査、心電図、心臓エコー、冠動脈造影等）
- ・入院中の治療内容および入院中・退院後の転帰

### 【個人情報の取り扱い】

本研究は倫理指針および個人情報保護法に基づき適切に実施します。収集したデータは匿名化処理を行い、氏名・住所等の個人を特定できる情報を削除した上で解析します。データへのアクセスは研究担当者のみ限定し、暗号化ファイルによる厳重な管理を行います。個人情報が研究目的以外に使用されることはなく、外部への漏えいを防止するため万全の措置を講じています。解析終了後は速やかに破棄し、プライバシーの保護に十分注意を払います。

### 【研究成果の公表について】

研究成果は、個人情報を消去した上で集計されたデータのみを、国内外の学術集会・専門誌にて発表します。

### 【利益相反】

本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反はありません。

### 【資金源について】

東京都立病院機構の特別研究費

### 【研究計画書等の入手または閲覧】

希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で、本研究に関する研究計画書等を閲覧することができます。

---

### 【問合わせ先】

#### 【当院の窓口】

東大和病院 循環器科 研究責任者 加藤 隆一

住所：東京都東大和市南街1-13-12

電話番号：042-562-1411

FAX：042-562-1399

#### 【代表研究機関の窓口】

東京都立多摩総合医療センター 循環器内科 磯貝 俊明

住所：東京都府中市武蔵台2-8-29

電話番号：042-323-5111（代表）